

in 長野

～テーマ～

学校生活における生成 AI の活用について 開催報告書

2023年10月14日(土)12:30-17:00

【会場】：長野（オンライン）

主催

長野県 長野県教育委員会 長野県警察本部
高校生ICTカンファレンス実行委員会
(構成団体)

一般社団法人安心ネットづくり促進協議会

大阪私学教育情報化研究会

一般財団法人草の根サイバーセキュリティ推進協議会

共催

こども家庭庁、警察庁、消費者庁、デジタル庁、総務省、文部科学省、経済産業省

2023年11月16日

目 次

1. 開催概要.....	2
2. 高校生 ICT Conference 2023 地域開催.....	4
3. 高校生 ICT Conference 2023 in 長野 開催概要.....	4
4. 主担当	8
5. 高校生 ICT Conference 2023 サミット.....	8
6. 高校生 ICT Conference 最終報告会.....	8
7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応.....	8

1. 開催概要

名 称：	高校生 ICT Conference 2023 in Nagano テーマ：学校生活における生成 AI の活用について
主催：	長野県 長野県教育委員会 長野県警察本部 高校生 I C Tカンファレンス実行委員会 (構成団体) ● 一般社団法人安心ネットづくり促進協議会 ● 大阪私学教育情報化研究会 ● 一般財団法人草の根サイバーセキュリティ推進協議会
共催：(予定)	こども家庭庁、警察庁、消費者庁、デジタル庁、総務省、文部科学省、経済産業省
後援：(予定)	一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会、全国高等学校情報教育研究会、一般社団法人電気通信事業者協会、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構、独立行政法人情報処理推進機構、一般財団法人マルチメディア振興センター、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構
協賛：	グーグル合同会社、株式会社ラック、日本マイクロソフト株式会社、株式会社メディア開発総研、株式会社ディー・エヌ・エー、Bytedance 株式会社、グリーン株式会社、エースチャイルド株式会社
協力：	株式会社内田洋行、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社、デジタルアーツ株式会社、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構、ストップイットジャパン株式会社
開催目的：	<p>高校生 ICT Conference は、2011 年度に「ICT プロジェクト 高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&活用法～」として大阪でスタートしました。2012 年度は、東京開催を加え計 17 校 79 人の高校生が参加、その後順次規模を拡大し、2020 年度には、全国 15 拠点にて開催し、計 86 校 360 人の高校生が参加しました。</p> <p>高校生 ICT Conference の開催目的には、二つの側面があります。その一つは、教育的側面であり、初対面の人と話し合うという経験の中で、段階的に「考え、まとめる、聞く、話す、見せる、伝える」などの技術を修練することです。第二に社会的に注目を浴びている携帯電話やインターネットをテーマとすることで、大人になる準備段階として、携帯電話やインターネットを安心して安全に使うために、高校生として情報モラルについて自ら深く考え、実践することで、将来のより良いインターネット利用環境の構築の一助とすることです。</p> <p>新型コロナウイルスで揺れ動いた社会は、ようやく各種の行動制限はなくなりましたが、未だ感染リスクは存在するため、本来密であるはずの高校生の生活環境においても、人と人が直に接するリスクを未だ抱えている状況です。</p> <p>一方、高校生の ICT 利用環境に目を向けると、スマホに加え、一人一台学習端末の導入（いわゆる GIGA スクール構想）により、機能のすぐれたタブレットやパソ</p>

	<p>コンの個人専有が普及しました。さらに自然言語による生成 AI 技術等の目覚ましい進歩と実用化に向けた取組により、多様なシーンで AI 技術が利用されるようになりました。こうした社会環境の変化や情報技術の進歩を背景としたデジタル社会を迎え、今後、益々利用者自身の情報リテラシーや情報モラルが求められるようになってきています。</p> <p>ICT の健全な利用により利用者のデジタルウェルビーイングな状況を維持する社会環境の構築に向けた取り組みは我が国が目指しているところであり、それを支えるのが利用者の情報技術を利用する上での行動規範であるデジタルシティズンシップです。これから迎えるデジタル社会においてその中核をなすであろう現在の高校生が、現在そして将来果たすべき役割とは何か。多様な ICT 機器やサービス、新たに開発される技術の活用において、ICT 利用の最先端を走る高校生が、自身の役割について、斬新な指針とその実現方法を議論し、提言する。</p> <p>※平成 21 年 4 月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まりました。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政府に於いても施行状況の検討が進められています。</p> <p>更に、国は 2021 年 9 月 1 日にデジタル庁を新設し、2022 年 6 月 7 日に閣議決定された「デジタル社会の実現に向けた重点計画」において”誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化”を目指しています。高校生を取り巻く環境では、2022 年度より「情報」の授業が必修化されました。また、2025 年度からは共通テストで「情報」を加えた 6 教科 8 科目を課すことが決まっています。このように、ICT の利活用はわが国発展のための基盤と位置付けられており、これからのデジタル社会で中核を担う高校生による熱い議論を目指します。</p>
開催の概要：	<p>【各開催地での内容】※日程は、2. 地域開催の欄をご覧ください。</p> <p>(1) 挨拶 (2) 講演 (3) アイスブレイク (4) 熟議 (5) グループ発表 (6) 講評 (7) サミット参加者発表</p> <p>【東京サミット】</p> <p>(1) 挨拶 (2) アイスブレイク (3) 提言のための熟議 (4) 提言発表 (5) 講評 (6) 最終報告会参加者発表</p> <p>【最終報告会】</p> <p>(1) 各府省庁への提言発表 (プレゼン) (2) 質疑応答・意見交換</p>
各開催地 募集人員等：	<p>募集参加生徒 30 名 (各開催地により変動あり) 募集見学者各回 30 名 (各開催地により変動あり)</p>
参加参観方法：	参加費・参観無料 [要事前登録]
高校生 ICT Conference	<p>【委員長】</p> <ul style="list-style-type: none"> 米田謙三 (大阪私学教育情報化研究会 副会長)

実行委員会：	<p>【コアメンバー】</p> <ul style="list-style-type: none"> 石田幸枝（公益社団法人全国消費生活相談員協会 IT 研究会理事・消費者団体訴訟室長） 植田 威（特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム理事） 小城 英子（聖心女子大学） 他、関係者団体、事業者等 <p>【事務局】 一般社団法人安心ネットづくり促進協議会 〒104-0041 東京都中央区新富二丁目 4 番 5 号 ニュー新富ビル 4 階 TEL: 03-6280-4901</p>
--------	--

2. 高校生 ICT Conference 2023 地域開催

高校生 ICT Conference 地域開催では参加した高校生がテーマに沿った議論を実施し、サミットへ行く代表者を選抜します。

開催地	開催日時	会場
札幌	9月16日	内田洋行札幌ユビキタス協創広場 u-cala
帯広	10月1日	とちちプラザ
茨城	8月23日	茨城県立石岡第一高等学校
東京	10月1日	情報セキュリティ大学院大学東京オフィス
新潟	8月17日	NCC 新潟コンピュータ専門学校&オンライン
静岡	9月18日	専門学校 静岡電子情報カレッジ
愛知	9月24日	大同大学大同高等学校
長野	10月14日	オンライン
石川	9月18日	金沢勤労者プラザ
大阪	9月7日	私学会館
兵庫	9月9日	兵庫県立姫路東高等学校
高知	9月10日	高知県立伊野商業高等学校
福岡	9月2日	福岡県千代合同庁舎
大分	7月29日	ホルトホール大分会議室
長崎	8月19日	オンライン
全国オンライン1	8月7日	オンライン
全国オンライン2	10月8日	オンライン
サミット	11月3日	情報セキュリティ大学院大学東京オフィス

3. 高校生 ICT Conference 2023 in 長野 開催概要

概要	高校生、教員、企業関係者など 51 名の参加者を得て、“学校生活における生成 AI の活用” をテーマに高校生がグループに分かれて活発な議論と発表を行いました。
----	--

【開会行事】

司会進行・主旨説明

長野県 県民文化部こども若者局次世代サポート課 山崎 真梨 様

高校生 ICT Conference の概要及び本日の大まかな流れを説明していただきました。

主催者挨拶 長野県教育委員会事務局心の支援課長 召田 誠 様

主催者として開催の挨拶をいただきました。

来賓挨拶 総務省信越総合通信局情報通信部電気通信事業課長

久保田 昌平 様

オンライン授業の導入やギガスクール構想による1人1台の端末等、急速にICT環境の整備が進んでおり、幅広い世代へのスマホの普及により、インターネットが生活の一部となり欠かせないものとなりました。情報を正しく安全に利用し、他者への影響を考え、情報社会に責任を持ち、ルールマナーを遵守することを望んでいます。また、情報通信機器を駆使して目的の情報を取得し、情報を活用することで情報モラルを深めていただきたいと思います。本日の熟議では、高校生の柔軟な発想をブラッシュアップして、全国大会に皆さんの代表を選出し、皆さんの意見を政府へ提言していただきたいと思います。

【事業者による講演】

ByteDance 株式会社 金子 陽子 様

デジタルシティズンシップの定義にはいろいろあるが、共通点はデジタルをうまく使うことです。オンラインをうまく使う基本はリアルと変わらないが、即時性・拡散性というオンラインの特徴を考え、責任と良識あるデジタル社会の市民としての自立的行動が必要となる。社会の発展のためには多様性は欠かせないものであり、そのためにもルールを守った SNS の活用により、より多くの声が社会に届くことが必要と考えている。

【熟議①】他校生との熟議

4つのグループに分かれ、アイスブレイクの後、学校生活における生成 AI の活用について話し合いました。

○話し合ったこと

①生成 AI を使ったことがあるか？どんなものをイメージしているのか？

・ICT カンファレンスで発表をすることがわかってから使ってみた人や、TikTok で見て使ってみた人がいた。

・使用アプリとしては、Chat GPT おすすめの夕飯を聞いた、「おはよう」「悩みがある」などの会話、どの株があがるか、LINE (公式で絵を描いてもらった)、スライド作成の AI、画像生成アプリがあげられた。

②講師の金子さんの話を聞いてどう思ったか？

・動画の審査について、AI と人間で審査を行っているということで、AI にも抜け

道があるのではという指摘があった。

- ・ネット上だからこそその怖さとして、AIに渡した個人情報を守れるのか、よそに出していい情報と良くない情報の区別をきちんとすることができるのかという疑問も出た。

③生成AIを活用していくためにどんな力が必要なのか？

- ・正しく使う力という意見が多かった。情報が正しいのか見極める力や鵜呑みにせずに自分で考える力が必要。悪用することも簡単にできるから、生成AIの特性や操作方法、正しい答えをもらうための問いの立て方などを理解し一人ひとりが気をつけるべきだと考えていた。たくさんの人でアンチを行うことなど生成AIでなくともできてしまう恐ろしいことがあるから正しい利用方法を個人が知り、それを広めていく発信力も必要だと感じていた。

④生成AIに頼ることの影響((プラスとマイナス))

- ・生成AIの良いところは、成果物や答えが出るまでが早く効率的であることと、自分が知らないことを教えてもらえて視野が広がること。教育の場では視野を広げることが大切であり、自分では考えられないことも考えられるようになることも利点であると話した。
- ・生成AIの使用による懸念点としては、手直しをする必要があり実用性に欠ける、感情がなく人間にとって良い案なのかを判断できない、思考力の低下を招くのではないか、今まで人同士で対話をして解決していたものを機械と人のみのコミュニケーションになることで人とのかかわりが減るといったものがあげられた。

【熟議②】

熟議①で行った熟議の内容を、学校ごとのグループに持ち帰り、プレゼンテーションの準備をしました。

【プレゼンテーション】

各学校がプレゼンテーションソフトを活用して4分程度の発表を行いました。

各校のプレゼンテーションの趣旨

①東御清翔高校

- ・進路活動で活用する。しかし、最終的には自分で判断
- ・授業を生成AIに任せて、教師には部活動や生徒指導などに集中してもらう

②松本工業高校

- ・デジタルシチズンとして必要なことを身に付けなければならない
- ・どの学校でも「情報」科目にもっと力を入れるべき

③松川高校

- ・全校ディスカッションの司会者用の台本を作ってもらう

④松本美須々ヶ丘高校

- ・生成AIを身近に感じる機会が必要
- ・生成AIについて授業などで取り扱ってほしい

⑤明科高校

- ・生成AIの特徴を理解して使うべきだ

	<p>・そのためには生成 AI を使う場面をもっと増やしていく必要がある</p> <p>⑥松本県ケ丘高校</p> <p>・生成 AI に学習意欲を高めてもらう</p> <p>・その人にあった「褒め方」を生成 AI にしてもらう</p> <p>【代表校選出】</p> <p>参加生徒により、11月3日に開催される東京サミットに行く代表校の選定投票を行い長野県警察本部人身安全・少年課長 駒津一治様から長野県松本県ケ丘高等学校が代表校に選出されたことを発表いただきました。</p> <p>【講評】 国立情報学研究所 特任准教授 鈴木 彦文 様</p> <p>ご講評をいただきました。</p> <p>【閉会】 長野県 県民文化部次世代サポート課長 塩原 昭夫 様</p> <p>閉会の挨拶をいただきました。</p>
参加校：	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県松川高等学校 ・長野県松本工業高等学校 ・長野県東御清翔高等学校 ・長野県明科高等学校 ・長野県松本美須々ヶ丘高等学校 ・長野県松本県ケ丘高等学校 <p style="text-align: right;">(順不同)</p>
日 時：	2023年10月14日(土) 12:30-17:00
場 所：	オンライン(本部は長野県庁教育委員会室)
参加人数：	<p>熟議参加生徒 29人</p> <p>見学者・関係者 22人(教員・教育関係者・その他)</p> <p>合計： 51人</p>
熟議グループ：	<p>熟議参加者が高校生のため匿名とさせていただきます。(敬称略)</p> <p>【グループ名：1】 8名 〔ファシリテーター〕 山田千春</p> <p>【グループ名：2】 7名 〔ファシリテーター〕 星野 萌</p> <p>【グループ名：3】 7名 〔ファシリテーター〕 坂井 日佳理</p> <p>【グループ名：4】 7名 〔ファシリテーター〕 片岡 慶汰</p>

4. 主担当

一般社団法人安心ネットづくり促進協議会	事務局
長野県 長野県教育委員会 長野県警察本部	会場、什器備品手配 飲食手配、庶務 運営
各団体、事業者等	講演、ノベルティ、資料提供 他

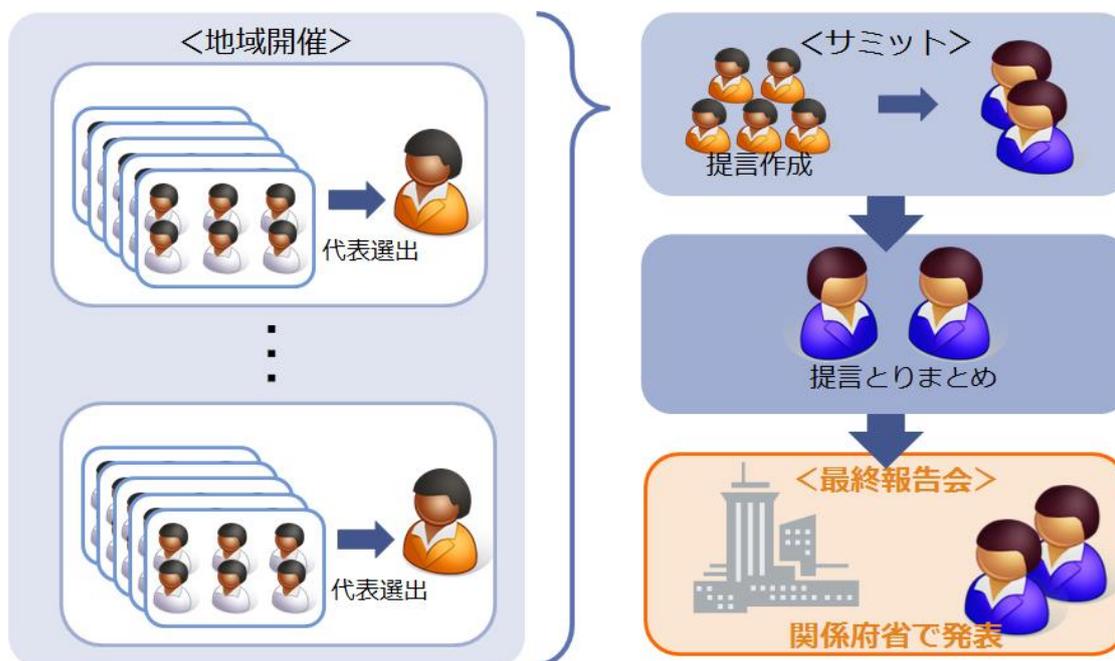
5. 高校生 ICT Conference 2023 サミット

高校生 ICT Conference 2023 サミットは、各地で開催された Conference の成果を高校生の代表として提言をまとめるための場です。その代表者の選考は以下の手順によります。

- 1) 参加が決まった場合、参加生徒を決めていただき、事前に登録をする
- 2) 熟議終了後、参加生徒の投票を基に代表を選出
- 3) 各地の代表者でサミット開催
- 4) サミット終了後、最終報告会で発表する代表を上記手順と同様に選出
- 5) 最終報告会代表者が、サミットの内容を提言にまとめ、最終報告会で提言発表を行う

6. 高校生 ICT Conference 最終報告会

高校生 ICT Conference 2023 サミットで検討された提言を、選出された代表者が報告用にとりまとめ、関係府省庁にて報告を行うとともに、関係府省担当者との意見交換によりコミュニケーションを語る。



7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応

- 1) グループ発表資料保存（又は模造紙など発表紙面の撮影）
- 2) Conference 終了後、発表内容、講評と併せて高校生 ICT Conference のサイトにアップデート
- 3) 高校生 ICT Conference 2023 サミット終了後、実行委員会にて取りまとめ
- 4) 高校生 ICT Conference 2023 サミット代表者による最終報告会用資料の作成
- 5) 最終報告会での発表

以 上